

## 新規事業箇所調書

		調書作成年月日		平成22年 2月 9日																							
		事業担当課		農村整備課																							
<b>事業名</b>	経営体育成基盤整備事業 <small>なびれ</small> (名鱈地区)	<b>補助・単独の別</b>	補助	<b>事業主体</b>	宮城県																						
<b>施行地名</b>	<small>とおだぐんわくやちようなびれ</small> 遠田郡涌谷町名鱈地内			<b>管理主体</b>	涌谷町 河南矢本土土地改良区 涌谷町土地改良区																						
<b>根拠法令</b>	土地改良法																										
<b>事業の概要</b>	<b>事業目的</b>	<p>本地域は、宮城県の北東部に位置し、北側に一級河川江合川、南側から東側は出来川に囲まれた水田地帯である。地区内のほ場状況は、昭和26年から45年に県営補助干拓事業で10a区画に整備されている区域と、昭和46年から49年で実施された耕地整理事業による30a区画に整備された区域に大別される。</p> <p>また、基幹的な用排水路については上位事業等により整備済みであるが、末端用水路については土水路であり、営農に支障を来す箇所については地元農家自ら水路装工を行っているが、水路勾配も不均一で断面及び水路高が不足している。特に10a区画に整備された区域の用排水路は未分離の兼用土水路のうえ、農道は狭小で大型機械の導入を阻害し近代的な営農に支障を来しており、担い手農家、生産組織の育成を阻害している状況である。</p> <p>よって、本事業により区画形状の整備、農道の効率配置、用排水路の分離化、農用地利用集積と団地化を行い、効率の良い農業経営と優良農地の保全を図ることを目的とする。</p>																									
	<b>事業内容</b>	区画整理工 A=34.6ha 用排水路工 A=81.0ha 暗渠排水工 A=76.0ha																									
	<b>事業費</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">全体事業費</th> <th colspan="4">費用負担内訳</th> </tr> <tr> <th>国</th> <th>県</th> <th>市町村</th> <th>その他(受益者)</th> </tr> <tr> <td></td> <td>内用地費</td> <td>[ 50 % ]</td> <td>[ 30 % ]</td> <td>[ 10 % ]</td> <td>[ 10 % ]</td> </tr> <tr> <td>11.04億円</td> <td>0.17億円</td> <td>5.52億円</td> <td>3.32億円</td> <td>1.10億円</td> <td>1.10億円</td> </tr> </table> <p>※ 金額は地方事務費を含まないもの。</p>				全体事業費		費用負担内訳				国	県	市町村	その他(受益者)		内用地費	[ 50 % ]	[ 30 % ]	[ 10 % ]	[ 10 % ]	11.04億円	0.17億円	5.52億円	3.32億円	1.10億円	1.10億円
	全体事業費		費用負担内訳																								
国			県	市町村	その他(受益者)																						
	内用地費	[ 50 % ]	[ 30 % ]	[ 10 % ]	[ 10 % ]																						
11.04億円	0.17億円	5.52億円	3.32億円	1.10億円	1.10億円																						
<b>事業期間</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th>事業期間</th> <td colspan="3">平成22年度～平成27年度 (6年間)</td> </tr> <tr> <th>用地買収着手予定年度</th> <td>平成23年度</td> <th>工事着手予定年度</th> <td>平成23年度</td> </tr> </table>				事業期間	平成22年度～平成27年度 (6年間)			用地買収着手予定年度	平成23年度	工事着手予定年度	平成23年度															
事業期間	平成22年度～平成27年度 (6年間)																										
用地買収着手予定年度	平成23年度	工事着手予定年度	平成23年度																								
<b>施設管理の予定</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <th>施設項目</th> <td>道路工</td> <th>用水路工・排水路工</th> <td></td> </tr> <tr> <th>管理区分</th> <td>涌谷町</td> <th></th> <td>河南矢本土土地改良区・涌谷町土地改良区</td> </tr> </table>				施設項目	道路工	用水路工・排水路工		管理区分	涌谷町		河南矢本土土地改良区・涌谷町土地改良区															
施設項目	道路工	用水路工・排水路工																									
管理区分	涌谷町		河南矢本土土地改良区・涌谷町土地改良区																								

事業の必要性	上位計画等																														
	<p>○上位計画 以下の計画において、優良農地として、大区画によるほ場の早期整備を推進することが位置付けられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 涌谷農業振興地域整備計画（平成14年5月）</li> <li>・ 涌谷地域水田農業ビジョン（平成21年4月）</li> <li>・ みやぎ農業農村整備基本計画（宮城県）（平成18年4月）</li> </ul>																														
事業の有効性	事業を巡る社会経済情勢等																														
	<p>○社会経済情勢 本地域は、水稻を中心に経営されているが中核となる若年層が他産業へ流出し耕作者の高齢化が進んでいる。このため、優良農地の保全、後継者の確保及び担い手農家の育成を図るべく基盤整備事業の導入要望が強い。</p> <p>○地元情勢，地元の意見 涌谷町では、「米政策改革大綱に対応した水田農業モデルづくりプロジェクト」事業により、花勝山集落営農組合、前谷地集落営農組合が設立され、農用地利用集積をより推進するため基盤整備が強く望まれている。</p> <p>(1) 関係市町村，受益者の合意状況 涌谷町，河南矢本土地改良区，涌谷町土地改良区及び受益者と合意に達している。</p> <p>(2) 営農支援体制 涌谷町担い手育成支援総合協議会設立予定（平成22年4月） 構成メンバー：涌谷町，JA，河南矢本土地改良区，涌谷町土地改良区</p> <p>(3) 地元の事業推進体制 名鱈地区活性化委員会（平成18年設立）</p>																														
事業の有効性	事業効果																														
	<p>○想定される事業効果</p> <p>(1) 地域農業の中心となる担い手農家の育成が図られる。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>項目\区分</th> <th>現況</th> <th>計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>個別担い手農家</td> <td>4戸</td> <td>4戸</td> </tr> <tr> <td>農業生産組織</td> <td>2組織</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>農業生産法人</td> <td>—</td> <td>2法人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 営農機械の大型化及び経営規模の拡大により，生産コストが低減する</p> <p>ア) 担い手経営体の地区内経営面積が農地集積により増加する。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>項目\区分</th> <th>現況</th> <th>計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農地集積面積</td> <td>52.9ha</td> <td>78.0ha</td> </tr> <tr> <td>農地集積率</td> <td>44.9%</td> <td>67.5%</td> </tr> </tbody> </table> <p>イ) 地区内農家の水稻・大豆作付けに係る労働時間が減少する。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>項目\区分</th> <th>現況</th> <th>計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">労働時間</td> <td>水稻</td> <td>18.1hr/10a</td> <td>14.5hr/10a</td> </tr> <tr> <td>大豆</td> <td>6.0hr/10a</td> <td>5.3hr/10a</td> </tr> </tbody> </table>	項目\区分	現況	計画	個別担い手農家	4戸	4戸	農業生産組織	2組織	—	農業生産法人	—	2法人	項目\区分	現況	計画	農地集積面積	52.9ha	78.0ha	農地集積率	44.9%	67.5%	項目\区分	現況	計画	労働時間	水稻	18.1hr/10a	14.5hr/10a	大豆	6.0hr/10a
項目\区分	現況	計画																													
個別担い手農家	4戸	4戸																													
農業生産組織	2組織	—																													
農業生産法人	—	2法人																													
項目\区分	現況	計画																													
農地集積面積	52.9ha	78.0ha																													
農地集積率	44.9%	67.5%																													
項目\区分	現況	計画																													
労働時間	水稻	18.1hr/10a	14.5hr/10a																												
	大豆	6.0hr/10a	5.3hr/10a																												

事業の有効性

ウ) 地区内農家の水稲・大豆作付けに係る生産コストが減少する。

項目\区分	現況	計画	
生産コスト	水稲	151千円/10a	90千円/10a
	大豆	66千円/10a	43千円/10a

エ) 地区内の機械台数が減少する。

項目\区分	現況	計画
田植機	76台	54台
トラクター	106台	65台
コンバイン	66台	41台

(3) 水田の汎用化により土地利用型作物の拡大が図られ、耕地利用率が向上する。

ア) 主な作物の作付け面積

項目\区分	現況	計画
水稲	81.3ha	79.8ha
大豆	4.3ha	10.6ha
小麦	6.9ha	9.8ha

イ) 耕地利用率

項目\区分	現況	計画
耕地利用率	86.8%	100%

事業の有効性

関連事業の概要・進捗状況等

項目	工期	進捗率
国営かんがい排水事業 河南地区	昭和45年～昭和56年	100%
県営かんがい排水事業 河南地区	昭和48年～昭和63年	100%
団体営かんがい排水事業 名鱈地区	昭和63年～平成5年	100%
県営水質障害対策事業 涌谷地区	昭和49年～昭和59年	100%
団体営小規模排水対策特別事業 尾切地区	昭和62年	100%
国営かんがい排水事業 定川地区	昭和23年～昭和45年	100%

代替案との比較検討

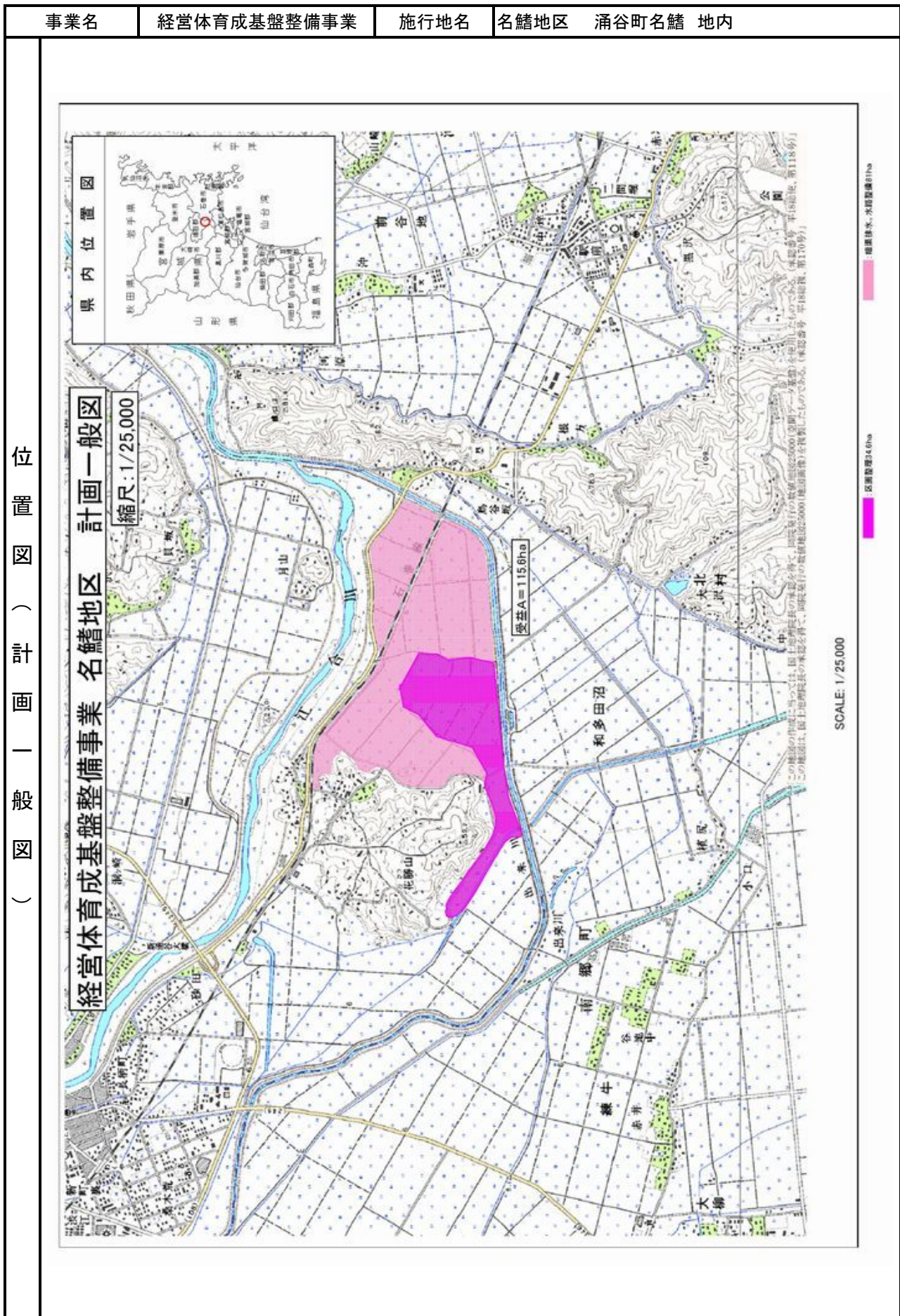
本計画地区は、一部沼地を干拓し水田区画が10a以下の区域と昭和46年から団体営ほ場整備事業により区画整理実施済み区域となっている。両区域とも水路は土水路で法面の崩壊や漏水、暗渠の老朽化により農地整備が必要となっている。  
また、地区内耕作者の高齢化が進んでおり、地域の担い手の育成が急務となっているため、経営体育成基盤整備事業の導入により農地の汎用化を図り農地の集積を行い担い手の育成を図る事が最も効果的である。

コスト縮減計画

現況区画(道・水路配置)を活用した再区画方式を採用し、道水路整備や旧水路埋立等に係る事業費の縮減を図る。

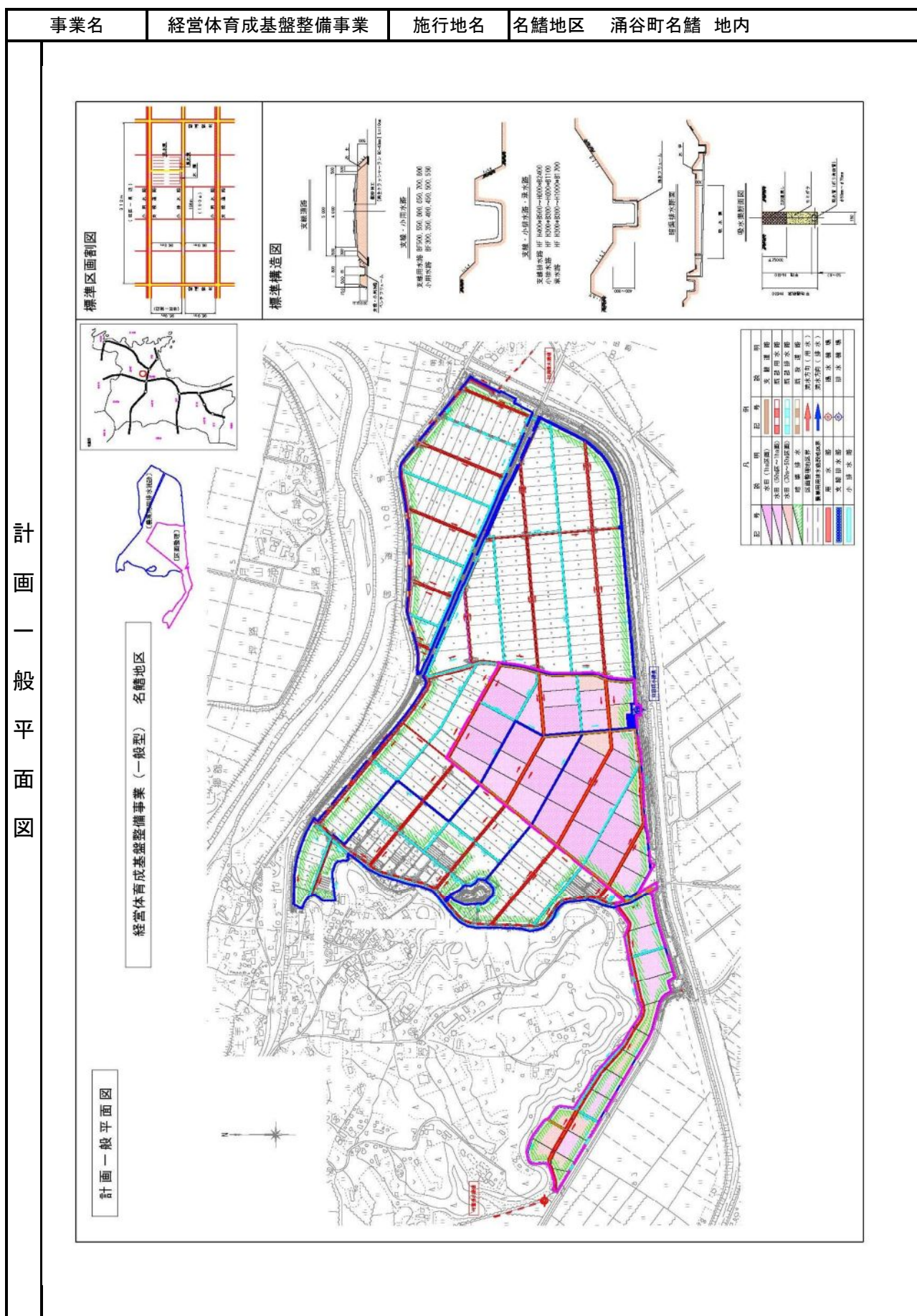
事業の効率的性	費用対効果	
	<p>根拠マニュアル：新たな土地改良の効果算定マニュアル（平成19年版）  （農林水産省農村振興局企画部土地改良企画課・事業計画課監修）</p> <p>社会的割引率： 4 %  便益算定期間： 46年  基準年：平成21年</p>	
	総費用 現在価値 (C)	1,878,578千円
	当該事業による費用	961,861千円
	その他費用(関連事業等)	916,717千円
	年総効果(便益)額	107,241千円
	作物生産効果	51,133千円
	営農経費節減効果	57,728千円
	維持管理費節減効果	▲1,630千円
	耕作放棄防止効果	10千円
	評価期間(工事工期+40年)	46年
	割引率	0.04
	総便益額(B)	1,986,312千円
	総費用便益比(B/C)	1.05
環境への影響と対策	地域指定状況等	
	<p>本地区は、涌谷町が策定する「田園環境整備マスタープラン」において、環境配慮地区として位置づけられている。</p>	
総合評価	影響と対策	
	<p>本地区では環境調査の結果、アマガエル等の両生類、ヘイケボタル等の昆虫が確認されており、排水路の湿地環境及びワンドを創造するなど環境に配慮する。</p>	
総合評価	事業箇所評価結果	
	評点による順位	予算化された箇所数
	経営体育成基盤整備事業 (新規事業箇所)	評価結果と予算への反映状況が異なる場合の理由 (低順位にもかかわらず予算化された理由)
	2位/12	6箇所
総合評価	対応方針	
	事業実施	

### 事業概要図





( 図 表 一 画 呼 ) 位 置 図

### 事業概要図



## 事業箇所状況等

事業名	経営体育成基盤整備事業	施行地名	名鱒地区	涌谷町名鱒 地内
 <p data-bbox="443 819 1158 875">名鱒地区の区画整理予定地は、現在10a区画が中心となっており、効率的な営農に支障が出ている状態である。</p>				
 <p data-bbox="437 1435 1134 1491">地区内の水路は土水路であり、地域では管理に苦慮している状況にある。</p>				